

## 式辞

本日、2023年度神戸国際大学の学位記授与式を挙げていただけますことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

学位記を授与された皆さん、本当におめでとうございませう。コロナ禍で不自由が多かった日々を乗り越え、無事に今日の日を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。卒業生の皆さんには、ご支援くださったご家族をはじめ、教職員、先輩、同期の仲間、後輩など、多くのお世話になった方々への感謝の気持ちを伝えることを忘れないで欲しいと思います。

また、保護者の皆様、ご子息、ご息女のご卒業、誠ににおめでとうございませう。心よりお祝い申し上げます。お子様方の在学中は、本学の教育へのご理解とご協力を賜りまして、誠に有り難うございませう。教職員を代表して心より御礼を申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、神戸国際大学での学生生活は充実したものでしたか？一生懸命勉学に励みましたか？ゼミ活動や行事、部活動、そして地域活動などはいかがだったでしょうか？在学中はコロナ禍の影響で何かと制限が多く、窮屈なことを強いられた大変だったと思いますが、そのような中でも、神戸国際大学で研鑽を積み、知識やスキル、資格を身に付け、教員・職員とたくさんの経験や体験を共有し、また、かけがえのない友達を作って友情を育みながら、良き思い出をいっぱい作ったのではないかと思います。

大学卒業は、人生における大きな節目の一つです。皆さんは今日、学位記を手に入れます。皆さんがこれから書く履歴書には、神戸国際大学経済学部／リハビリテーション学部の課程を修了し、学士（経済学）／学士（理学療法学）の学位を取得した、という新しい項目が加わります。既に、皆さんより先に学び卒業していった1万人を超える先輩達が、日本国内はもとより、世界各地で活躍しています。皆さんは、今日からその卒業生の仲間入りをする事となります。神戸国際大学で学んだこと、経験したことを十分活かして、そして本学の卒業生であることに誇りを持ち、胸を張って、実りある豊かな人生を切り拓いて欲しいと思います。

ところで、先にも述べましたように、皆さんの大学生活期間の大部分は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響によって、今までとは大きく異なる学生生活を送ることを強いられました。対面での授業ができず慣れない遠隔授業を受けたり、部活動も制限されたり、人が集まることのできなかつたため友達作りが難しかったりと、本当に大変だったと思います。いろいろな行事も中止となり、新しく友達を作る機会も奪われてしまいました。ようやく新型コロナウイルス感染症の対策も緩和され、コロナ禍前の日常生活に戻りつつあります。そのような学生生活の

中で、皆さんは「我慢」や「忍耐」という経験を積むことができたと思います。

一方で、「平和な社会」を根底から揺るがす深刻な事態が起こるとともに、物価高騰による生活への影響、気候変動による自然災害の増加など、目まぐるしく変化する社会や予測できない社会に不安を感じている方も多いと思います。少子高齢化のさらなる進展、AI 技術の進歩、世界情勢の不透明さなど、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。皆さんはこれからそれぞれの道に進み、新たな環境での生活が始まります。現代の社会には様々な分野で解決すべき課題が山積しており、皆さんは上述のような非常に厳しい環境の中に身を投じることになります。しかしながら、皆さんが夢を持ち、その夢をいかにして叶えるのかを強く心に思い描けば、必ず道は開けます。「我慢」や「忍耐」も、結果としてはすばらしい経験となって、本当の意味での実力になることでしょう。これからの時代は「リテラシー（知識や能力を活用する力）」と「コンピテンシー（行動の基となる価値観や思考）」が非常に重要な役割を果たします。これまで学生生活で学んで来た知識や、これから先の人生で得られる経験が皆さんを格段に豊かな人間にしてくれることは間違いありません。皆さんには、社会の要請をしっかりと受け止め、真正面から挑戦し、社会に必要とされる人物になって欲しいと願っています。ポジティブな気持ちを忘れずに頑張ってください。

最後に、新しい旅立ちをされる卒業生の皆さんに心からお祝いを申し上げるとともに、皆さんの未来に輝かしい実りと栄光があらんことを祈りして、私からの式辞とします。

2024年3月16日

神戸国際大学副学長 山本克典